

二周め 令和六年

森野 水琴

令和六年一月

年明け早々、生まれ故郷の北陸が大震災に見舞われた。実家は富山県の扇状地のかなめに位置し、ほとんど被害は受けてなさそうである。

一月十九日は皇居で行われる歌会始をテレビ鑑賞した。今年のお題は「和」。応募作は落選したが、「琴線 令和六年」に載せている。

来年のお題は「夢」。早速詠んで、毛筆の練習に励んでいる。

一月二十一日に帰省し、実家に二泊した。

帰りの北陸新幹線が富山駅に着いた時、車内アナウンスで架線トラブルのため長野から先が運転見合わせとなり、再開の目途が立たないと告げられた。しばらくして東京行きから長野行きに変更になったので、逆方向で東海道新幹線を利用することにした。大寒波の予報が出ていたので実家に延泊するのは避け

た。無事帰ってきて、やれやれと思っ

ているうちに、もう月末になってしまっ

た。のんびりマイペースで書き続けたい。

令和六年十一月三日

マイペースにかまけて、書きもせず、のんびりしすぎて九か月たってしまった。

月末にこだわらず日付を書いて随時更新していくことにする。

日記のように毎日とか制約せず、気ままにしたためていきたい。

さて十一月三日は文化の日であるとともに私の誕生日である。

よわい  
年齢を重ねて六十九歳になった。来年いよいよ七十歳である。

のんびりしていた九か月の間にハーフマラソンを二回走ったが、二回とも途中で制限時間オーバーになってしまった。もうハーフマラソンは短距離走といった感じがする。

六月の隠岐の島ウルトラマラソンは百キロに挑戦するも五十九キロ地点で制限時間オーバー。

今年のマラソンは十二月の奈良マラソンで締めくくるが、完走しておきたい。